

生産施設におけるバイオマスオンサイト事例

天然樹脂製品等製造工場(兵庫県)

プロジェクトの狙い

わが国初のバイオマス燃料(粗トル油)によるオンサイト発電

◆ 余剰グリーン電力の売電による収支アップ(RPS法)



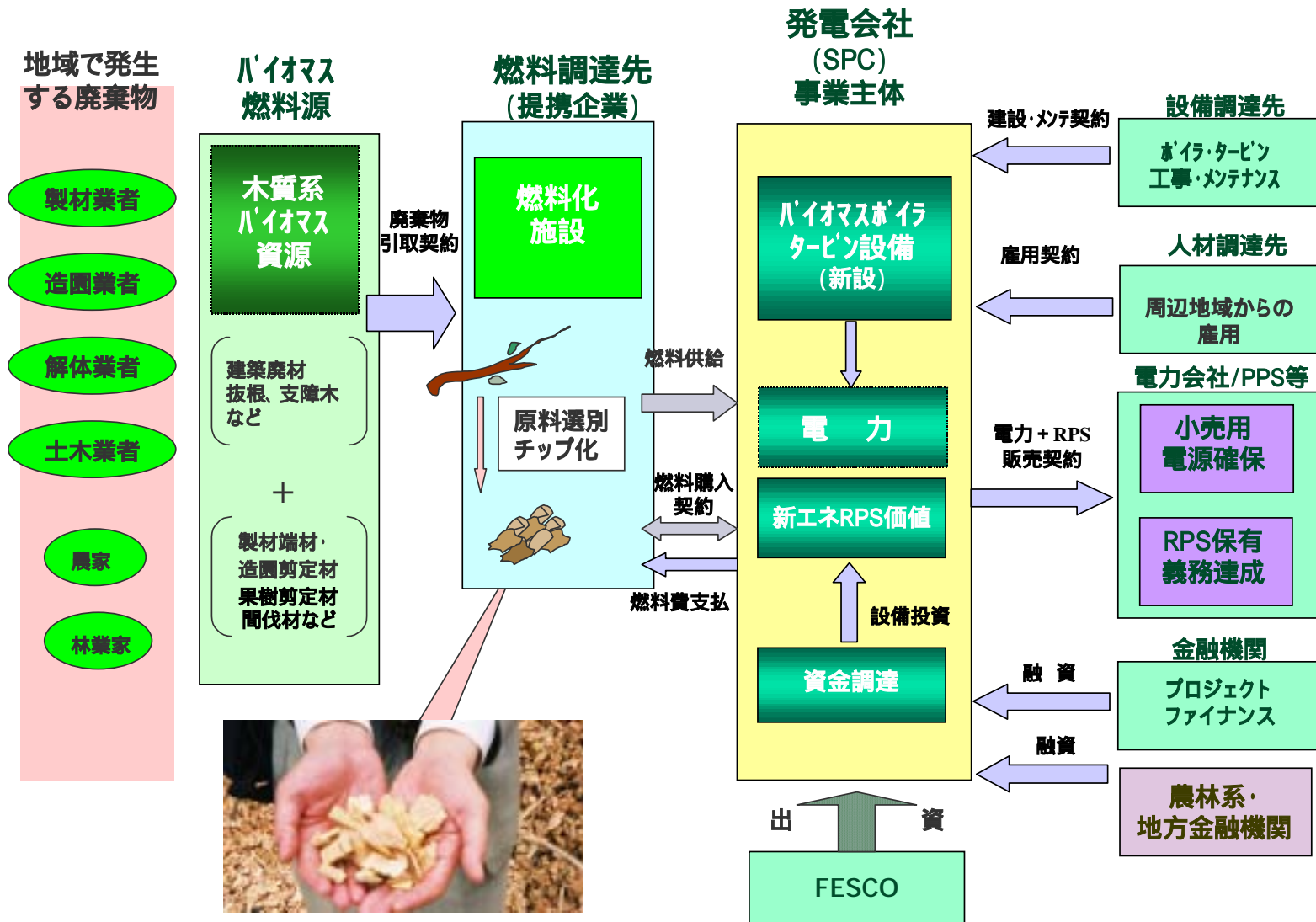
◆ 期待効果: CO2削減12,000t-CO2/年

◆ 設備規模: 14億円

◆ 実施済方策: バイオマス燃料焚きボイラ(30t/h)
抽気復水型蒸気タービン発電機(4,000kW)

(H15年度経済産業省 新エネ事業者支援補助金採択)

地域密着型バイオマス(木質チップ)発電事業



岩国ウッドパワー事業のプレス発表資料

日経産業新聞 2003年10月24日(金)

バイオマス発電に参入

ファースト エス コ 山口県で2006年運営開始

省エネルギー支援サー
ビスのファーストエスコ
(東京・中央、青見三三
社長)はバイオマス(重
生の生物資源)発電事業に
参入する。建設費材、樹
木廃材を燃料にする発電
所を山口県岩国市に建
設、二〇〇六年四月に運
営を始める。同社が電力
の卸売りを手掛けるのは
初めて。
同社はこのほど金額出
資で山口県でのバイオマ
ス発電を手掛ける岩国ウ
ッドパワー(東京・中央、
坂田直美社長)を設立し
た。資本金は一千万円。
来年度に発電所の建設に
着手し、〇六年四月に稼
働の予定。投資額は約三
十億円。従業員は当初六
人で、稼働時に十人に増
やす。
発電所の出力は一、二〇
キロで、約三人分の電力
を賚る。公園や道路な
どの整備で出る樹木廃材
や建設現場から排出され
る廃木材を、日本樹木リ
サイクル協会(大阪市)
の会員企業から有償で調
達する。使用するバイオ
マスは年産約八万トン。
ファーストエスコは工
場やオフィスの蓄エネ貯
断サービスのほか、コー
ジエネレーション(熱電
併給)システムによる白
家電電代行サービスも手
掛けている。今回は発電
代行ではなく、電力会社
などへの卸売りとなる。
バイオマスは再生可能エ
ネルギーの一種で、同社
では地球温暖化問題の解
決にも貢献すると判断し
た。

日経新聞 2003年10月30日(木)

岩国にバイオマス発電所

ファースト エス コ 木質チップ燃料に1万キロワット

来夏着工、2006年運転開始



山口県岩国市に建設されるバイオマス発電所。同社は、このほど金額出資で山口県でのバイオマス発電を手掛ける岩国ウッドパワー(東京・中央、坂田直美社長)を設立した。資本金は一千万円。来年度に発電所の建設に着手し、〇六年四月に稼働の予定。投資額は約三十億円。従業員は当初六人で、稼働時に十人に増やす。発電所の出力は一、二〇キロで、約三人分の電力を賚る。公園や道路などの整備で出る樹木廃材や建設現場から排出される廃木材を、日本樹木リサイクル協会(大阪市)の会員企業から有償で調達する。使用するバイオマスは年産約八万トン。ファーストエスコは工場やオフィスの蓄エネ貯断サービスのほか、コーディネーション(熱電併給)システムによる白家電電代行サービスも手掛けている。今回は発電代行ではなく、電力会社などへの卸売りとなる。バイオマスは再生可能エネルギーの一種で、同社では地球温暖化問題の解決にも貢献すると判断した。

岩国ウッドパワーの建設予定地。同社は、このほど金額出資で山口県でのバイオマス発電を手掛ける岩国ウッドパワー(東京・中央、坂田直美社長)を設立した。資本金は一千万円。来年度に発電所の建設に着手し、〇六年四月に稼働の予定。投資額は約三十億円。従業員は当初六人で、稼働時に十人に増やす。発電所の出力は一、二〇キロで、約三人分の電力を賚る。公園や道路などの整備で出る樹木廃材や建設現場から排出される廃木材を、日本樹木リサイクル協会(大阪市)の会員企業から有償で調達する。使用するバイオマスは年産約八万トン。ファーストエスコは工場やオフィスの蓄エネ貯断サービスのほか、コーディネーション(熱電併給)システムによる白家電電代行サービスも手掛けている。今回は発電代行ではなく、電力会社などへの卸売りとなる。バイオマスは再生可能エネルギーの一種で、同社では地球温暖化問題の解決にも貢献すると判断した。

わが国が目指すべき社会ビジョンとは？

1. 乏しい国内資源・海外高依存度
2. 温暖化対策・CO2削減の率先推進
3. 持続的な経済成長・豊かさの維持・国際的競争力の強化



【資源循環型社会】

環境と経済の両立・資源効率性の向上
『資源消費を半分に、豊かさを2倍に』
環境先進国ニッポン

資源効率性を高め循環型社会の構築を！

経済成長と環境保全の両立

戦略的環境投資促進

担い手の環境ビジネス台頭

動脈産業



静脈産業

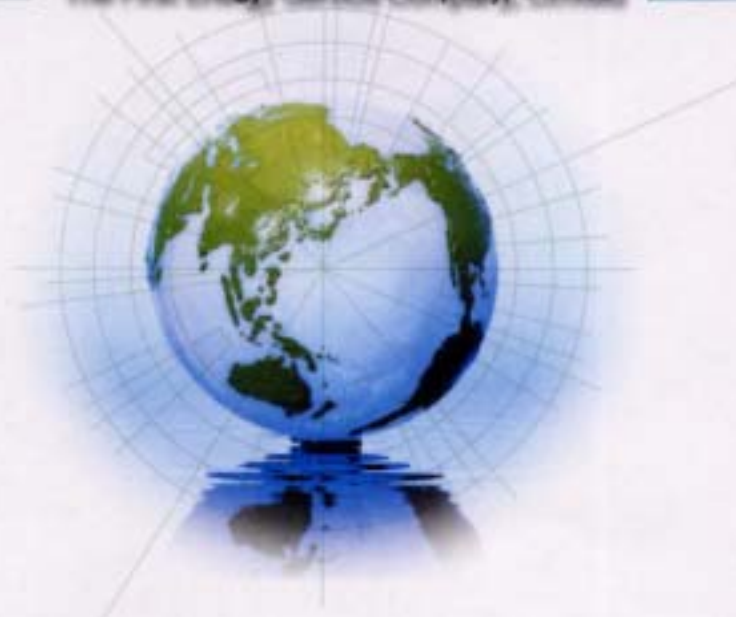
【環境ビジネス】

理論・ビジョンから実践の時代へ！

FESCO成長の履歴

平成 9年 5月	東京都千代田区一番町16に設立 資本金 50,000千円 代表取締役 筒見憲三就任
平成 9年 10月	一級建築士事務所 (東京都知事登録第042483号)
平成 10年 6月	東京都千代田区三番町5番地に移転 第1回増資 資本金126,000千円
平成 11年 2月	ニュービジネス大賞「環境賞」受賞 (社団法人ニュービジネス協議会より)
平成 12年 1月	建設業電気工事業の東京都知事許可取得 (般 - 11 第112522号)
平成 12年 4月	新事業創出促進法に基づく通商産業大臣認定
平成 12年 5月	第2回増資 資本金260,400千円
平成 12年 7月	東京都千代田区三番町22番地7に移転
平成 13年 3月	技術士事務所登録(第45096号) 第3回増資 資本金411,600千円
平成 13年 8月	特定建設業の東京都知事許可取得 (特 - 13 第112522号)
平成 14年 4月	関西サテライト・オフィス(現 関西支社)を大阪市北区に設置
平成 15年 1月	中部サテライト・オフィスを名古屋市中区に設置
平成 15年 6月	第4回増資 資本金681,600千円
平成 15年 8月	東京都千代田区京橋2-9-2第一ぬ利彦ビルに移転
平成 15年 8月	九州サテライト・オフィスを福岡市博多区に設置
平成 17年初旬	株式公開予定(主幹事証券:野村証券)

省エネルギーと快適性の両立。それがFESCOのテーマです。



お問合せ
会社概要ホームページ

info@fesco.co.jp TEL:03-3538-5980(代)
<http://www.fesco.co.jp>